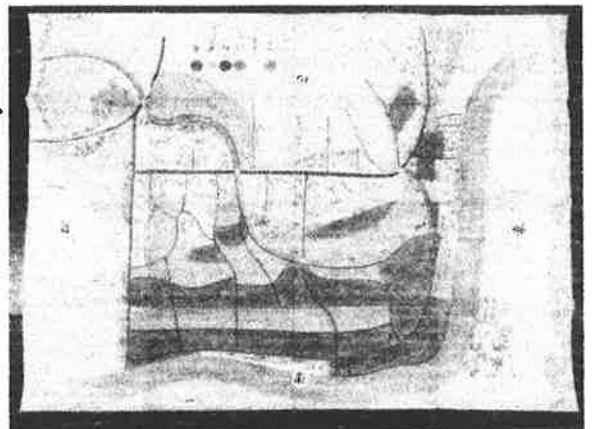


一から学ぶ、一宮の歴史

～【通史編・中編】近世の一宮地域～

2020年、東京オリンピック競技大会のサーフィン競技が一宮町で開催されます。しかし、一宮にはサーフィンだけでなく、様々な魅力があります。その一つが歴史ある風土でしょう。玉前神社をはじめ、各地域に様々な文化財があり、地域の人々に守られています。

『一宮町史』が刊行されてから約55年が経ちました。この間一宮では様々な発見があり、その間も歴史が作られてきました。この講座では、一宮のアイデンティティである郷土の「歴史」について一から、わかりやすくお話します。今回は平成30年（2018）1月に実施した「前編」の続編として、江戸時代の一宮地域の歴史を見ていきます。前編に参加していない方でもわかる内容ですので、この機会に一宮の歴史を学んでみてはいかがでしょうか？



▲船頭給村土地利用図（町指定文化財、個人所蔵）

- と き 令和元年（2019）8月31日（土）
午後1時30分 ～（午後3時頃終了予定）
- ところ 一宮町中央公民館・大会議室
- 講 師 江澤一樹（一宮町教育委員会学芸員）
- 問合せ 一宮町教育委員会 42-1416

※参加無料、定員はありませんので、どなたでもご参加できます。

